

『イノシシへの対処について』

最近、町内の一部において、イノシシの目撃情報が寄せられています。
イノシシと出会った場合は、次のことに注意して下さい。

【イノシシに出会ったら】

イノシシは、本来、臆病でおとなしい性質を持っています。普通イノシシが人に出会ってもイノシシの方から逃げるのであわてる必要はありませんが、興奮していたり、発情期（晩秋～冬）や分娩後で攻撃的になっていたり、至近距離で突然出会った場合には注意が必要です。

⇒人の話す声や物音を聞くと、ほとんどの場合、自分から逃げていきます。

鈴を付けたり、できるだけ大勢で話をしながら歩くことが有効です。

【落ち着いて行動しましょう】

イノシシに出会ったら、静かにその場を離れるようにしましょう。急に走り出してイノシシを興奮させないこと。背を向けず、ゆっくりと電柱や街路樹、塀などのかげに隠れましょう。

【できるだけ高い場所に逃げましょう】

どうしても接近が避けられない場合などは、できるだけ高い場所（塀の上や植え込みなど）に逃げましょう。立ち木に登るのも有効です。

【^{いかく}威嚇してはいけません】

棒を振り上げたり、石を投げたりしてイノシシを挑発してはいけません。
逆上したイノシシが向かってくることもあります。

【反撃はやめましょう】

反撃する限り、いつまでも攻撃してきます。

【うり坊（イノシシの子）にも注意】

うり坊を見かけても、近くにイノシシの母親がいる可能性がありますので、近付いたり追いかけてはいけません。

※有害鳥獣捕獲について

役場では、町猟友会に協力を頂き、有害鳥獣捕獲（箱わな等）を1年中実施しています。令和元年度（平成31年4月～令和2年3月31日）においては、イノシシ51頭、ニホンジカ69頭を捕獲しました。現在も、捕獲を実施しています。